共通テスト対策講座 歴史総合，世界史探究

①　講師からのメッセージ

こんにちは。歴史総合・世界史探究を担当する山本です。この講座を受けようと考えたみなさんは，共通テストで高得点を狙う，意欲の高い受験生です。しかし，実際にはどのように学習すればいいのか不安でいっぱいですよね。ただただ過去問を解き，丸つけをして終わっていませんか？

この講座では，解答の流れの整理と必要な知識の提示にこだわり，みなさんの不安を解消する構成を心掛けました。「いったい何が問われているのか？」「どんな知識が必要なのか？」を考え，正答へのアプローチを一緒に考えていきましょう。

②　本講座の特徴

共通テスト歴史総合，世界史探究の試作問題を用いて，画面に資料や地図，グラフなどを大きく映して，丁寧に解き進めていきます。解答に必要な歴史の知識を，**「思いだそう」**や**「あわせて確認」**といったコラムを立ててチェックします。

③　受講のルール

講義を受ける際は，事前に試作問題を解いて，できるだけ時間を空けず講義に臨んでください。よくわからなかった箇所，間違った問題を明らかにして，集中して講義を聞くように。

講義を視聴した後は，スタディサプリの通史講座，または教科書や参考書などで，歴史事項の確認を行いましょう。特に多くの受験生が苦手とする地域史や現代史などは必ずチェックしておいてください。問題を解き講義を聞いた後に，簡単な年表に目を通すだけでも効果があります。継続的に知識の定着を進めておきましょう。

すべての問題を解き終えるころには，共通テストへの航路が見えてくるはずです。ぜひがんばってついてきてください！

山本直人

目　次

第 1 講　2025 年度 試作問題 第 1 問 …… p4
第 2 講　2025 年度 試作問題 第 2 問 …… p16
第 3 講　2025 年度 試作問題 第 3 問 …… p26
第 4 講　2025 年度 試作問題 第 4 問 …… p34
第 5 講　2025 年度 試作問題 第 5 問 …… p44

試作問題の傾向分析と対策

①　広範囲の歴史知識が，まんべんなく問われる！

共通テストでは，地域はまんべんなく，時代では古代から現代まで，**網羅的な知識が問われます。**学習範囲に穴があると途端に得点が下がってしまうため，履修漏れのないように学習を進めましょう。特に現代史は遅れがちになるので注意。

知識をインプットする際には，**必ず時代（いつ）と地域（どこ）を意識し，歴史の枠組みの中での位置づけを落とし込んでいきましょう。**歴史事項を体系的にとらえることで，共通テストで頻出の地図問題や年代配列問題などの出題形式にも対応できるようになるでしょう。また，近代以降の出題によくみられる「同時代・他地域のつながり」を扱う問題についても，各事項の時代・地域が頭に入っていれば対応することができます。

②　地図やグラフ，史料の読み取りが出題される！

共通テストの特徴として，**地図やグラフ，史料の問題がよく設定されます。**一見すると読みとくのが難しい歴史の資料。さらに，背景となる歴史の知識も必要となる難易度の高い出題もみられます。

日々の学習で，**教科書や図説の地図を必ずチェックする，グラフの情報が何を意味しているのか常に考える，教科書や問題で取り上げられた史料に目を通しておくこと**を徹底し，出題傾向に慣れておきましょう。

図３

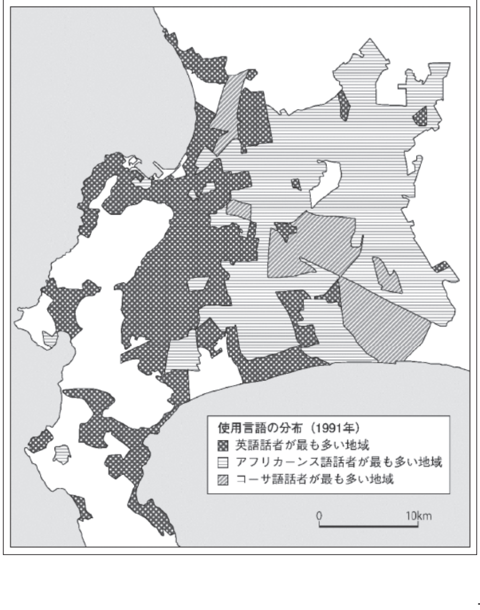


表　それぞれの言語話者の構成(1991 年)

	英語話者	アフリカーンス語話者	コーサ語話者
白　人	49.9%	19.7%	0.02%
黒　人	0.5%	0.2%	99.80%
カラード	46.3%	79.6%	0.10%
インド人	3.3%	0.5%	0.10%
計(注)	100%	100%	100%

第１講　2025年度 試作問題 第1問

第１問　歴史総合の授業で, 世界の諸地域における人々の接触と他者認識について, 資料を基に追究した。次の文章Ａ～Ｃを読み，後の問い（**問１～８**）に答えよ。（資料には，省略したり，改めたりしたところがある。）（配点　25）

Ａ　19 世紀のアジア諸国と欧米諸国との接触について，生徒と先生が話をしている。

先　生：19 世紀はアジア諸国と欧米諸国との接触が進んだ時期であり，アジア諸国の人々と欧米諸国の人々との間で，相互に反発が生じることがありました。例えば日本の開港場の一つであった横浜の近郊では，薩摩藩の行列と馬に乗ったイギリス人の一行との間に, **図**に描かれているような出来事が発生しています。それでは，この出来事に関連する他の資料を図書館で探してみましょう。

（この後，図書館に移動して調査する。）

高　橋：横浜の外国人居留地で発行されていた英字新聞の中に，この出来事を受けて書かれた論説記事を見つけました。

（ここで，高橋が ⓐ英字新聞の論説記事を提示する。）

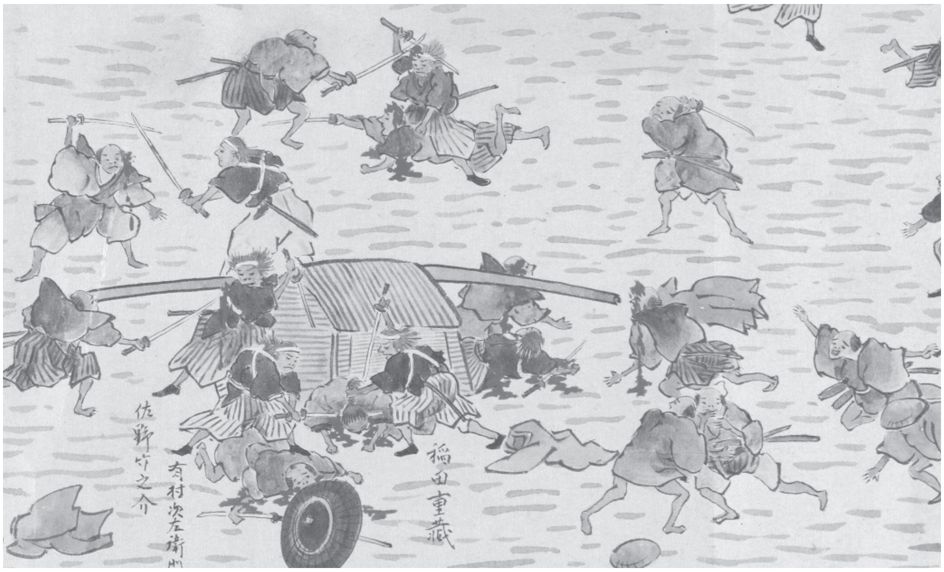
中　村：この記事は，現地の慣習や法律に従わなかったイギリス人の行動を正当化しているように見えます。また，この出来事が，イギリス側でも，日本に対する反発を生んだのだと分かります。

先　生：そのとおりですね。一方で，アジア諸国が欧米諸国の技術を受容した側面も大事です。ⓑ 19 世紀のアジア諸国では，日本と同じく欧米の技術を導入して近代化政策を進める国が現れました。

問１　文章中の**図**として適当なもの**あ・い**と，後の**年表**中の a ～ c の時期のうち，**図**に描かれている出来事が起こった時期との組合せとして正しいものを，後の①～⑥のうちから一つ選べ。 [1]

図として適当なもの

あ



い

日本の対外関係に関する年表

1825 年	異国船を撃退するよう命じる法令が出された。
↓	a
	上記法令を撤回し，異国船への燃料や食料の支給を認めた。
	b
	イギリス艦隊が鹿児島湾に来て，薩摩藩と交戦した。
	c
1871 年	清との間に対等な条約が締結された。

① あ―a　② あ―b　③ あ―c
④ い―a　⑤ い―b　⑥ い―c

問２　下線部ⓐに示された記事の内容を会話文から推測する場合，記事の内容として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 2

① イギリス人は，日本の慣習に従って身分の高い武士に対しては平伏すべきである。
② イギリス人は，日本においてもイギリスの法により保護されるべきである。
③ イギリス人は，日本の許可なく居留地の外に出るべきではない。
④ イギリス人は，日本が独自に関税率を決定することを認めるべきではない。

問３　下線部ⓑについて述べた文として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 3

① ある国では，計画経済の建て直しと情報公開を基軸として，自由化と民主化を目指す改革が進められた。
② ある国では，「四つの現代化」を目標に掲げ，市場経済を導入した改革・開放政策が行われた。
③ ある国では，儒教に基づく伝統的な制度を維持しつつ，西洋式の兵器工場や造船所を整備する改革が進められた。
④ ある国では，労働者に団結権が認められるとともに，失業者対策と地域開発を兼ねて，ダム建設などの大規模な公共事業が行われた。

B　戦争の際のナショナリズムや他者のイメージについて，絵を見ながら生徒と先生が話をしている。

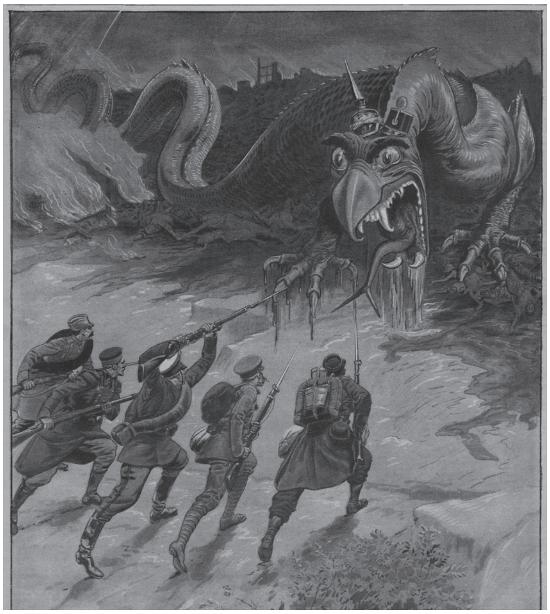
先　生：以前の授業では，一つの国民あるいは民族から成る国家を建設する動きをナショナリズムという用語で説明しました。それは異なる言葉や生活様式を持つ人々を均質な国民として統合しようとする動きと言えますね。

まさき：島国として地理的なまとまりが強い日本には，わざわざナショナリズムによって国民を統合するような動きは見られないですよね。

ゆうこ：そんなことはないでしょう。日本は，昔も今も一つの民族による国家だと思う人はいるかもしれませんが，そうではなく，異なった言語や文化を持った人々によって構成されていたのです。近代において，そういった人々を，ナショナリズムによって統合していった歴史があったはずです。

まさき：その際，抑圧の側面も存在したと考えてよいのでしょうか。

先　生：そのとおりです。



さて今回は，20 世紀の戦争に目を向けてみましょう。そこでは，敵対する他者が戯画化されて，表現されることがよくあります。次の絵を見てください。これは第一次世界大戦が始まった際に，フランスのある新聞に掲載された絵です。解説には，フランスを含む５つの国の「文明戦士がドイツとオーストリアというモンスターに立ち向かう」と書かれています。５つの国には，フランスのほかに　ア　などが当てはまると考えられますね。どちらも，三国協商を構成した国です。

ゆうこ：交戦相手を怪物として描いてその恐ろしさを強調することで，敵に対する国民の憎悪をかきたてて団結させようとしているのですね。

まさき：このように敵対意識を表現することや，他の国と比べて自国を良いものだと考えることで自国への愛着を促すこと，これらもナショナリズムと言えるのでしょうか。

先　生：そのとおりです。ほかにも，植民地支配からの独立を目指す動きもナショナリズムに基づいていると言えます。

ゆうこ：ⓒナショナリズムには多様な現れ方があるのですね。

問４　文章中の空欄 [ア] について，(1)及び(2)の問いに答えよ。

(1)　文章中の空欄 [ア] に入る国の名として正しいものを，次の①～⑥のうちから一つ選べ。**なお，正しいものは複数あるが，解答は一つでよい。** [4]

① アメリカ合衆国　② イギリス
③ イタリア　④ チェコスロヴァキア
⑤ 日　本　⑥ ロシア

(2)　(1)で選んだ国について述べた文として最も適当なものを，次の①～⑥のうちから一つ選べ。 [5]

① 血の日曜日事件が起こった。
② サルデーニャ王国を中心として統一された。
③ 奴隷解放宣言が出された。
④ ズデーテン地方を割譲した。
⑤ チャーティスト運動が起こった。
⑥ 中国に対して，二十一か条の要求を行った。

問５　下線部ⓒに関連して，ナショナリズムの現れ方として考えられること**あ・い**と，その事例として最も適当な歴史的出来事X～Zとの組合せとして正しいものを，後の①～⑥のうちから一つ選べ。 6

ナショナリズムの現れ方として考えられること

あ　国内で支配的位置にある多数派の民族が，少数派の民族を同化しようとすること。

い　外国による植民地支配から脱して，自治や独立を勝ち取ろうとすること。

歴史的出来事

X　ロシアとの戦争が迫る情勢の中で，幸徳秋水が非戦論を唱えた。

Y　明治期の日本政府が，北海道旧土人保護法を制定した。

Z　ガンディーの指導で，非暴力・不服従運動が行われた。

①　あ―X　い―Y
②　あ―X　い―Z
③　あ―Y　い―X
④　あ―Y　い―Z
⑤　あ―Z　い―X
⑥　あ―Z　い―Y

C　1970 年に開催された日本万国博覧会（大阪万博）について，生徒たちが，万博に関わる当時の新聞記事（社説）を探して，記事から**抜き書き**を作成した。

社説の抜き書き

・万博に参加した 77 か国のうち，初参加のアジア・アフリカなどの発展途上国が 25 か国に上っていた。
・アジア・アフリカなどの発展途上国のパビリオン（展示館）では，一次産品の農産物・地下資源や民芸品・貝殻などが展示されていた。
・こうした発展途上国のパビリオンからは，GNP（国民総生産：国の経済規模を表す指標の一つ）は低くとも，自然と人間が関わり合う生活の中に，工業文明の尺度では測れない固有の文化の価値体系を知り得た。
・高度工業文明と GNP 至上主義の中で，「物心両面の公害」に苦しめられている今日の日本人にとって，発展途上国のパビリオンから知り得た文化と風土の多様性こそ，人間の尊厳と，人間を囲む自然の回復を考える手掛かりである。
（『読売新聞』1970 年９月13 日朝刊（社説）より作成）

問６　センリさんのグループは，社説が発展途上国のパビリオンの特徴に注目しながら，同時代の日本の状況を顧みていることに気付いた。その上で，当時の世界情勢で社説が触れていないことについても，議論してみようと考えた。社説が踏まえている当時の日本の状況について述べた文**あ**・**い**と，当時の世界情勢で**社説が触れていないこと**について述べた文**X**・**Y**との組合せとして正しいものを，後の①～④のうちから一つ選べ。 7

社説が踏まえている当時の日本の状況

あ　第１次石油危機（オイル＝ショック）により，激しいインフレが起こっていた。

い　環境汚染による健康被害が問題となり，その対策のための基本的な法律が作られた。

当時の世界情勢で社説が触れていないこと

X　アジアでは，開発独裁の下で工業化を進めていた国や地域があった。

Y　アラブ諸国では，インターネットを通じた民主化運動が広がり，独裁政権が倒された国があった。

① あ―X
② あ―Y
③ い―X
④ い―Y

問７　センリさんのグループでは，発展途上国が万博に積極的に参加した背景について調べ，**メモ**にまとめた。**メモ**中の空欄 [イ]・[ウ] に入る語句の組合せとして正しいものを，後の①～④のうちから一つ選べ。[8]

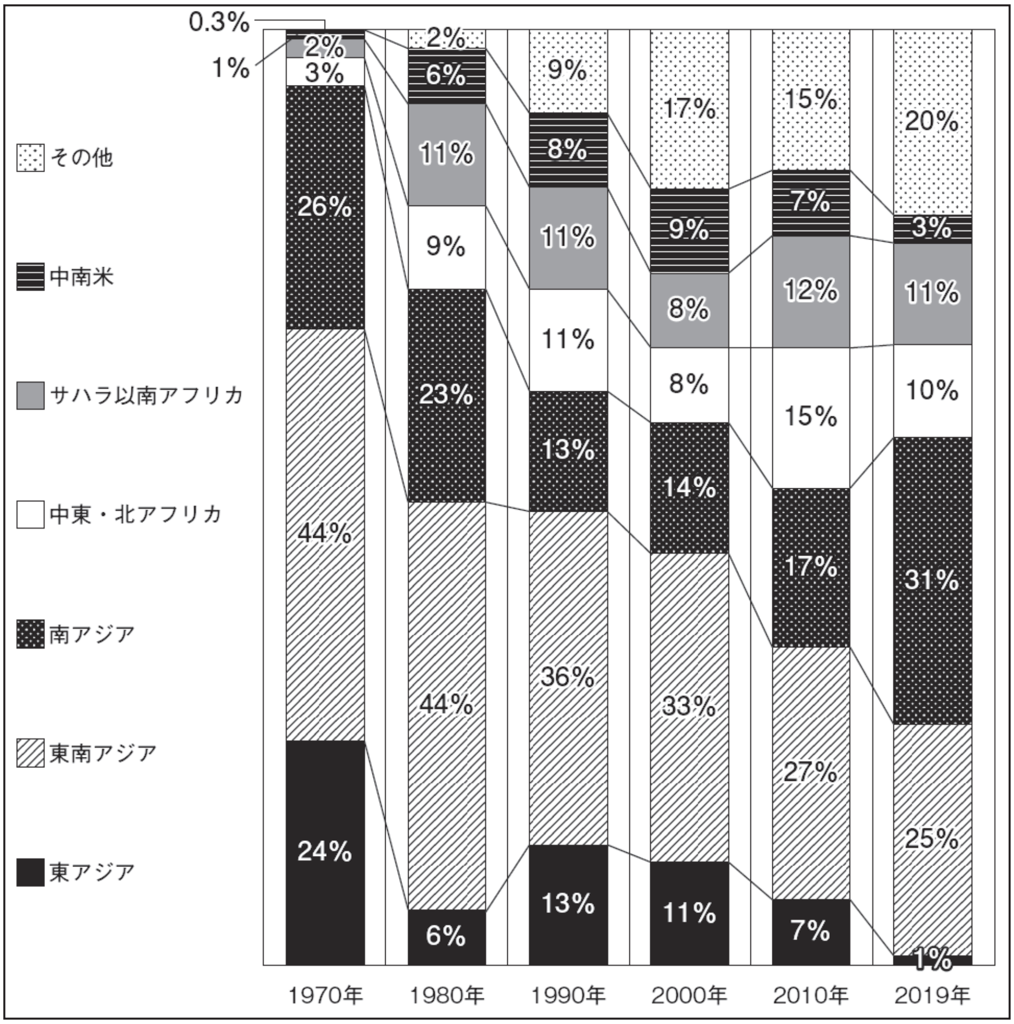
メ　モ

1960年に [イ] で17か国が独立を果たすなど，1960年代には独立国の誕生が相次いだ。新たに独立した国々の中には [ウ] する国もあるなど，発展途上国は国際社会において存在感を高めていた。

① **イ**―アフリカ　　**ウ**―非同盟諸国首脳会議に参加
② **イ**―アフリカ　　**ウ**―国際連盟に加盟
③ **イ**―東南アジア　**ウ**―非同盟諸国首脳会議に参加
④ **イ**―東南アジア　**ウ**―国際連盟に加盟

問８　ユメさんのグループは，万博後の発展途上国と日本の関係について，政府開発援助（ODA）から考えることとし，日本のODAの地域別配分割合の推移を示す**グラフ**を作成し，そこから考えたことを**メモ**にまとめた。３人の**メモ**の正誤について述べた文として最も適当なものを，後の①～④のうちから一つ選べ。 9

グラフ　日本の２国間ODAの地域別配分割合の推移



（外務省国際協力局「2020年版開発協力参考資料集」より作成）

（注）四捨五入のため，合計は必ずしも100％にならない。

ユメさんのメモ

1970 年に東アジアの割合が 24%に達していたのは，中華人民共和国への援助が開始されていたためである。

テルさんのメモ

2010 年までは，どの年についても，東南アジアの割合が最も大きかった。東南アジアの中には，日本が賠償を行った国々が含まれていた。

アインさんのメモ

1970 年から 2019 年にかけて，南アジアの割合は一貫して減少し，日本の援助先としての重要性が，他地域と比べて低下している。

① ユメさんのメモのみが正しい。
② テルさんのメモのみが正しい。
③ アインさんのメモのみが正しい。
④ 全員のメモが正しい。

第 1 講　2025年度 試作問題 第 1 問　解答

(全大問合計で 100 点満点)

問題番号(配点)	設　問	解答番号	正　解	配　点
第 1 問 (25)	1	1	5	3
	2	2	2	3
	3	3	3	3
	4	4	2 又は 6	2
		5	解答番号 4 が 2 の場合は 5 解答番号 4 が 6 の場合は 1	2*
	5	6	4	3
	6	7	3	3
	7	8	1	3
	8	9	2	3

(注)　＊は，解答番号4で2を解答した場合は5を，6を解答した場合は1を正解とし，点を与える。